



この本では、
各種の「伝統」
がおおよそ何年
くらい前からの
ものなのかを推
察し、概算で示
す。学校で教え
るような確実な

年号しか扱えないとしたら、こ
のような大胆な本はできなかつ
ただろう。

「初詣」は明

治時代に鉄道会
社の宣伝として
始まった。傘を
差した人同士が
すれ違うとき、
相手を濡らさな
いように互いの
傘を傾げる「傘
かしげ」などの
「江戸しぐさ」

は、これを記録

した史料が一切ないにもかかわ
らず「江戸時代からの伝統」と
言われる。だが、「江戸しぐさ」
という言葉の初出は、1981
年の読売新聞である。

藤井氏はこう述べる。「伝統
があつて、人間がある」のでは
なく、「人間があつて、伝統があ
る」。そして次のように警鐘を
鳴らす。「伝統」を強調するこ



藤井青銅 著

1620円 柏書房

☎03-3830-1891

「日本の伝統」の正体

とで正統性をアピールでき、権
威ができ、価値が増す。よって
「日本の伝統」はビジネスにな
り、権威で人を従わせることも
できる。私たちに、これを見
極めるための、いわば「伝統リ
テラシー」が必要である。古く
から「連綿と続く伝統」のよう
に見えるしきたりや風習・文化
だが、新しい時代に「発明され
た伝統」もある。

もっともらしい
「和の衣裳」を
身にまとった
「あやしい伝統」
と、「ほんとう
の伝統」とを対
比・検証するこ
とで、本当の
「ものの見方」
を身につけるこ
とが必要である。
評者は考える。

教育では、不確かな情報を排除
することが大切である。だが、
以上のような「伝統」や「モラ
ル」に関することは、思い込み
で語られたまま流通してしま
うことが多いように思う。正確な
年号はわからないとしても、時
系列に関する大きな勘違いは、
なんとか解消したいものである。
(聖徳大学教授・西村美東士)